

2012年もバックスマンドリーノは パワフルでスペシャルな音楽をお届けします!!

『卒業してからも一緒に弾きたい!』の声の下に1991年10月、関マン(全国学生マンドリン連盟関東支部)に加盟する大学マンドリンクラブの卒業生を中心としたメンバーにより結成された社会人マンドリンオーケストラ『バックスマンドリーノ』。毎年8月に定期演奏会を開催し、昨年には21回目の定期演奏会を開催。結成当初は50余名だった楽団員数も100名を超え、国内でも有数の大編成マンドリンオーケストラへと躍進を果たした。

演奏曲は、マンドリンオーケストラのために書かれた古今東西の楽曲のほか、クラシックの曲、ポップスなど多岐にわたり、『マンドリンを聴くのが初めてのお客様にも存分に楽しんで聴いていただける選曲』をモットーとしている。

楽団名の『バックス』は、ギリシャ神話の『お酒の神様』に由来しており、練習後に居酒屋にて毎回行われる飲み会のパワーは練習時に発揮されるパワーにも匹敵する。演奏会でステージに掲げられる団旗は、バックスの『聖杯』をデザインしたものである。『みんなで楽しく弾き、みんなで楽しく飲む!』これもまた、結成から20年経った今も変わらぬバックスに脈々と続くモットーである。

これからもバックスは、『よりみんなで楽しく弾き、みんなで楽しく飲む楽団』として、また、『よりお客様に音楽を、マンドリンを、楽しんでいただける楽団』として、一層の飛躍を目指していく。そんなバックスの未来に『乾杯!』

マンドリン・マンドリンオーケストラとは?



「マンドリン」は、19世紀中頃にイタリアで生まれた撥弦楽器(はつげんがっき。弦をはじいて音を出す楽器)です。日本に伝来したのは、ほんの100年ほど前ですが、現在では東京都内だけでも100団体以上の学生、社会人のマンドリン演奏団体があり、プロとして活躍中の演奏家も数多くいます。今や日本は世界一の愛好者人口を持つ「マンドリン大国」なのです。

マンドリンは左の写真のような丸い胴をした楽器で、全長は60センチちょっと。弦はスチール製で8弦ですが、同じ調弦の2弦を1対として弾きます。調弦は低い方からG(ソ)ーD(レ)ーA(ラ)ーE(ミ)とヴァイオリンと同じですが、指板にはギターのようにフレットがあり、「ピック」を使って弦をはじく「ピッキング」、ピックの急速な上下運動による「トレモロ」といった奏法で演奏します。

マンドリンオーケストラは通常マンドリンの他に、1オクターブ低い音域の「マンドラ」、チェロと同じ音域の「マンドロンチェロ」、主にリズムパートを担当する「クラシックギター」、主に低音域を担当する「コントラバス」で編成されます。また、演奏曲によっては、これに「フルート」や「クラリネット」などの管楽器、「ティンパニー」や「バスドラム」「シンバル」などの打楽器、「ピアノ」なども加わります。

このような大編成のマンドリンオーケストラは、シンフォニーオーケストラにも匹敵する表現力や可能性を持っています。ぜひマンドリンオーケストラの演奏会に足を運んでいただき、「マンドリンの世界」を見て、聴いてみてください!

団員募集中!

バックスマンドリーノでは団員を募集しています。一緒に演奏してみたい方、ぜひご連絡ください。学生の方は会費無料、新人の方は初回の会費半額です。

♥ 今年の新入団員からメッセージ ♥



団員がみんな明るくて元気!
大人数での演奏を楽しむのはもちろん、
元気まで補給できるのはバックスならではの、
だと思えます。

大人数ならではのダイナミックな演奏と、
酒の神の名に恥じぬ賑やかな飲み会を
全力で楽しめますよ!
少しでもアンテナに引っかかった方は、
ぜひ一緒に演奏しましょう



ご来場を
お待ちしております!

演奏会・入団希望お問い合わせ先

電話 岡崎 正和(おかざき まさかず) 090-7420-2162

e-mail taken@mars.dti.ne.jp (公式ホームページ管理人)

会場 かつしかシンフォニーヒルズ モーツァルトホール

京成線「青砥駅」より
徒歩5分



当団指揮者による音楽への情熱を綴ったブログや練習・イベントの様子がわかる団員ブログが日々更新中!

バックスマンドリーノ
公式ホームページ

へ 引っ越ししました /

<http://bacchus-mandolino.com>

バックスマンドリーノ

Web検索